

科目名		言語療法技術Ⅰ			授業の種類	演習	講師名		
授業回数	15回	時間数	30時間	(1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科4年	後期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
聴覚障害の分類、原因と発達段階に沿った聴力検査の方法、補聴器の装用と聴能訓練について学び、療育と就学問題、家族の援助方法について考察する。									
〔授業全体の内容の概要〕									
聴覚障害の分類、聴力検査の方法、補聴器の装用と聴能訓練、療育と就学問題、家族の援助方法									
〔講師の実務経験〕									
丹波市おひさまにこにこクリニックにて言語聴覚士として26年間勤務									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
国家対策につながるような実践的知識の集積									
回数	講義内容								
1	聴覚機能評価								
2	〃								
3	〃								
4	聴覚活用（聴覚学習、トータル・コミュニケーション）								
5	〃								
6	〃								
7	〃								
8	発声発語訓練								
9	〃								
10	聴覚障害児・者ケース例								
11	〃								
12	〃								
13	〃								
14	〃								
15	まとめ								
【 準備学習・時間外学習 】									
【 使用テキスト 】									
書籍名					著者名		出版社		
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】									
筆記試験にて評価する。									